



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年10月30日

上場会社名 ヲタカフーズ株式会社
 コード番号 2806 URL <https://www.yutakafoods.co.jp>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 淳

問合せ先責任者 (役職名) 業務部長 (氏名) 岸本 一人

TEL 0569-72-1231

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	10,578	8.3	704	45.2	765	38.5	501	31.8
2020年3月期第2四半期	9,766	8.5	485	16.7	552	15.7	380	38.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	72.23	
2020年3月期第2四半期	54.79	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	23,300	20,104	86.3	2,893.42
2020年3月期	22,849	19,726	86.3	2,839.01

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 20,104百万円 2020年3月期 19,726百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		20.00		20.00	40.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	1.1	1,100	8.3	1,200	7.2	820	16.0	118.01

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	8,832,311 株	2020年3月期	8,832,311 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,883,966 株	2020年3月期	1,883,966 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	6,948,345 株	2020年3月期2Q	6,948,423 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の拡大により個人消費の急速な低迷を招き、世界経済の悪化・企業収益の圧迫が続いており、国内においても緊急事態宣言発令にともなう休業要請・外出自粛要請が本格化し、全体的には企業の景況感が悪化する中、当該宣言解除後も回復に向けた動きは鈍くウィズコロナの世界を模索する状況にて、先行きは極めて不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染拡大を受けて緊急事態宣言発令により、外出自粛や営業時間短縮の要請により外食産業の低迷、巣ごもり消費による内食需要の増加等大きな変化があり、より一層食への安心・安全に対する関心が高まるとともに、原材料価格は依然高く続くと思われ、厳しい経営環境が継続していくと見込まれます。

このような状況の中で、当社は取引先のニーズを追求した提案型営業の強化とともに、各部門全てにおいて、既存設備の活用を重点に合理化・省力化の推進を図り、経営効率の向上と利益目標の達成に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は10,578百万円（前年同期比8.3%増）、営業利益は704百万円（前年同期比45.2%増）、経常利益は765百万円（前年同期比38.5%増）、四半期純利益は501百万円（前年同期比31.8%増）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

液体部門は、液体スープの売上が順調に伸び、売上高は2,270百万円（前年同期比9.4%増）、セグメント利益は232百万円（前年同期比11.3%増）となりました。

粉体部門は、粉末スープの受託が伸び、売上高は2,085百万円（前年同期比3.2%増）、セグメント損失（営業損失）は、0百万円（前年同期は21百万円のセグメント損失）となりました。

チルド食品部門は、受託が順調に推移し、売上高は1,634百万円（前年同期比17.5%増）、セグメント利益は260百万円（前年同期比49.9%増）となりました。

即席麺部門は、袋麺の受託が増加し、売上高は4,027百万円（前年同期比5.4%増）、セグメント利益は200百万円（前年同期比64.6%増）となりました。

その他は、水産物の取扱量が増加し、売上高は560百万円（前年同期比22.5%増）、セグメント利益は11百万円（前年同期比540.8%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産の部は23,300百万円となり、前事業年度末と比べ450百万円増加しました。これは主に、流動資産において現金及び預金が905百万円増加し、売掛金が198百万円、固定資産において機械及び装置（純額）が150百万円減少したことによるものであります。

負債の部は3,195百万円となり、前事業年度末と比べ72百万円増加しました。これは主に、流動負債においてその他が57百万円、固定負債において退職給付引当金が45百万円増加したことによるものであります。

純資産の部は20,104百万円となり、前事業年度末と比べ378百万円増加しました。これは、利益剰余金が362百万円、その他有価証券評価差額金が15百万円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は7,732百万円となり、前年同期と比べ1,460百万円（23.3%）の増加となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動により得られた資金は1,183百万円となり、前年同期と比べ752百万円（174.4%）の増加となりました。主な要因は、税引前四半期純利益719百万円、減価償却費316百万円による資金の増加と法人税等の支払額232百万円による資金の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は199百万円となり、前年同期と比べ881百万円（81.5%）の減少となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出98百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は138百万円となり、前年同期と比べ0百万円（0.2%）の支出減となりました。なお、財務活動による支出は、配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の収束時期等が不透明であり、現時点で業績予想への影響を合理的に算定することが困難であるため、2020年5月15日に発表した見通しを変更していません。今後、修正が必要となった場合には適切に開示してまいります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,111	8,016
売掛金	2,222	2,024
商品及び製品	414	443
仕掛品	39	35
原材料及び貯蔵品	253	303
関係会社短期貸付金	5,500	5,500
その他	138	17
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	15,671	16,333
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,401	2,326
機械及び装置（純額）	1,835	1,685
その他（純額）	1,109	1,104
有形固定資産合計	5,345	5,117
無形固定資産	8	16
投資その他の資産		
投資有価証券	1,501	1,523
その他	321	308
投資その他の資産合計	1,823	1,832
固定資産合計	7,177	6,966
資産合計	22,849	23,300

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,406	1,375
リース債務	-	1
未払法人税等	254	240
賞与引当金	191	199
役員賞与引当金	8	7
その他	416	473
流動負債合計	2,277	2,297
固定負債		
リース債務	-	5
退職給付引当金	834	880
役員退職慰労引当金	11	12
固定負債合計	846	897
負債合計	3,123	3,195
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	20,460	20,823
自己株式	△3,457	△3,457
株主資本合計	19,324	19,687
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	401	416
評価・換算差額等合計	401	416
純資産合計	19,726	20,104
負債純資産合計	22,849	23,300

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	9,766	10,578
売上原価	8,763	9,350
売上総利益	1,002	1,227
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	174	169
賞与引当金繰入額	26	28
役員賞与引当金繰入額	2	7
退職給付費用	16	16
役員退職慰労引当金繰入額	0	0
その他	296	299
販売費及び一般管理費合計	517	523
営業利益	485	704
営業外収益		
受取利息	12	12
受取配当金	40	39
雑収入	17	14
営業外収益合計	70	66
営業外費用		
賃貸費用	2	2
たな卸資産廃棄損	—	3
雑支出	0	0
営業外費用合計	2	5
経常利益	552	765
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	0	14
固定資産撤去費用	9	31
特別損失合計	9	46
税引前四半期純利益	543	719
法人税、住民税及び事業税	162	218
法人税等調整額	0	△1
法人税等合計	162	217
四半期純利益	380	501

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	543	719
減価償却費	307	316
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	8	8
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3	△1
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	48	45
前払年金費用の増減額 (△は増加)	2	3
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3	0
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	0
有形固定資産除却損	0	14
有形固定資産撤去費用	9	31
受取利息及び受取配当金	△53	△51
売上債権の増減額 (△は増加)	139	198
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△41	△75
仕入債務の増減額 (△は減少)	20	△31
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△195	187
長期前払費用の増減額 (△は増加)	4	3
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△10	1
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△77	△6
小計	699	1,364
利息及び配当金の受取額	53	51
法人税等の支払額	△321	△232
営業活動によるキャッシュ・フロー	431	1,183
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△196	△196
定期預金の払戻による収入	136	136
有形固定資産の取得による支出	△1,011	△98
有形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	△9	△31
無形固定資産の取得による支出	—	△9
その他の支出	△1	△0
その他の収入	1	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,080	△199
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△138	△138
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138	△138
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△788	845
現金及び現金同等物の期首残高	7,060	6,887
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,272	7,732

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,076	2,021	1,390	3,819	9,308	457	9,766
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,076	2,021	1,390	3,819	9,308	457	9,766
セグメント利益又は損失(△)	208	△21	174	121	483	1	485

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,270	2,085	1,634	4,027	10,017	560	10,578
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,270	2,085	1,634	4,027	10,017	560	10,578
セグメント利益又は損失(△)	232	△0	260	200	693	11	704

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。